
プロジェクト報告

テキストデータ分析研究会¹⁾

勝 又 恵 理 子²⁾

西 原 明 希³⁾

1. プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、NVivo⁴⁾(Jackson & Bazeley, 2019) や KH Corder⁵⁾(樋口、2015) などの分析ソフトを活用して、さまざまなテキストデータを分析することである(表1)。本稿では勝又及び西原が行った第2回目の研究会について主に報告することとする。第2回目研究会で分析の対象としたのは、海外研修プログラムにおける学生の記録(ジャーナルおよびレポート)である。参加学生による海外研修の記録を分析する目的は、学生の学びや変化を客観的に捉え、海外研修プログラムの課題を把握し次のプログラムの計画・運営に役立てることである。

本研究会は、2019年3月より、プロジェクトメンバー間で対象とするデータについて話し合いを重ね、5月より質的データ分析研究会(Lab SASO)の研修担当講師(笹生智子氏⁶⁾)による講義とプロジェクトメンバー独自の勉強会を通して、データ分析を進めた。海外研修の参加学生の記録については、データ分析の結果を2019年度異文化コミュ

1) メンバーは勝又恵理子、西原明希、末田清子、井上美砂である。

2) 本学国際政治経済学部准教授

3) 北星学園大学社会福祉学部准教授

4) NVivo は、QSR International Pty. Ltd. による開発・提供ソフトウェアである。

5) KH Corder とは、テキスト型(文章型)データを統計的に分析するためのフリーソフトウェアである。

6) 質的データ分析研究会(Lab SASO) 代表

ニケーション学会第34回年次大会⁷⁾で発表⁸⁾し、論文にまとめた⁹⁾。

2. 研究会の概要

研究会の概要を以下に示す。

表 1：研究会の概要

日程	内容
2019年 5月11日：第1回	テーマ：インタビューデータを KH Coder により分析する ・抽出語・階層クラスター分析 ・共起分析・対応分析 ・特徴語の抽出
8月1日：第2回	テーマ：NVivo の活用 ・NVivo を活用しての海外研修参加学生の記録（ジャーナルおよびレポート）の分析（北米研修・オーストラリア研修） ・NVivo を活用してのインタビューデータの分析 ・初期コード、焦点化コード、カテゴリーを階層ノード化 ・プロジェクトマップ
12月3日：第3回	テーマ：計量テキスト分析ソフト KH Corder の基礎 ・KH Corder の活用法

3. 異文化コミュニケーション学会での発表概要

前述の海外研修の参加学生の記録について、NVivo を活用しデータ分析を行った。その結果を「日本人大学生の海外短期留学における多文化共生社会についての学びと気づき」と題し、2019年度異文化コミュニケーション学会第34回年次大会で発表した。調査対象者はアメリカ短期留学をした東京の大学生と、オーストラリア短期留学をした札幌の大学生、計32名である。両プログラムの共通点として、現地で提携校の教員陣から異文化コミュニケーション・多文化共生の授業を受け、フィールドスタディーを行い、プログラム終盤には成果発表と振り返りセッションを行っている。当発表では調査対象者の日記と事後レポートをもとに、両プログラム参加者に共通する変容要素を分析し、

7) 2019年11月9日～10日、上智大学四谷キャンパスにおいて開催された。

8) 発表者：勝又恵理子、西原明希

9) Katsumata, E. and Nishihara, A. (2021). Conceptualization of a Multicultural Society in Study Abroad Programs for Japanese University Students. *Aoyama Journal of International Studies*, Numer 8.

彼らがどのような体験を経て異文化および多文化共生に対する認識を変化させたのかを検討した。その中で特に、ジェンダーについての認識の変化が注目に値した。この結果を踏まえ、短期留学、特に異文化コミュニケーション教育を軸としたプログラムにおける事前・渡航中・事後を通じた介入（intervention）の必要性、多文化共生への意識向上についての提言を行った。また、現地担当者との協働の重要性など、今後のプログラム作りにおける課題についても言及した。

4. まとめ

3. の海外研修の研究については、2つのプログラム内容には共通項が多くあるが、訪れている国や期間、データとして使用した言語など異なる点もある。今後は参加者の成果物を統一し調査を進める予定である。また、全体としては、今後はさらに NVivo と KH Corder の分析ソフトを活用して、さまざまなテキストデータを分析し研究を深めたい。

引用文献

Jackson, K., & Bazeley, P. (2019). *Qualitative data analysis with NVivo* (3rd ed.). London: Sage.
樋口耕一 (2015). 『社会調査のための計量テキスト分析－内容分析の継承と発展を目指して』 ナカニシヤ出版.